

重点項目(3か年計画)

- 1 利用者の暮らしに潤いを感じることができる支援の実践
- 2 稼働目標を達成し財務状況が安定する
- 3 職員個人が力を発揮できる組織づくり
- 4 地域の高齢者やご家族に対し、拠点施設として役割を果たす
- 5 建物設備の環境整備を進めていく

1 利用者の暮らしに潤いを感じることができる支援の実践

1) 安心で快適な生活を提供するための再確認と実践

- ・新型コロナウイルス感染症対策を継続し利用者の安全を最優先に取り組む。
- ・睡眠時間や状況などを把握していきながら、快眠援助の充実をすすめていく。

2) ICT機器の活用と充実

- ・昨年度整えたICT関連機器を活用し、その成果を利用者サービスに還元する。
- ・機器の活用の理解を広げ、利用者の理解に向けて模索していく。

3) リスクマネジメント

- ・安全対策担当者を選出し、多角的な視点からリスクマネジメントに取り組む。
- ・災害、感染症等のBCP策定と訓練の実践を行う。
- ・事故等の再発防止に向けた介護力の向上のための育成を行う。

4) 医療対応者の具体的な受け入れの検討

- ・受け入れ可能対象者像を定め、必要となる体制作りを行っていく。
- ・共通理解を構築していくため、研修等の情報を共有し知識を深めていく。

2 稼働目標を達成し財務状況が安定する

1) 介護保険制度改正に伴う運営規程の見直しと加算の検討

- ・制度改正に伴う、加算の算定についての検討を行う。
- ・加算算定に伴う書類の整備をケアカルテと照らし合わせながら模索する。

2) 稼働の安定継続に向けた取り組み

- ・特養稼働率93%の定着。通所事業の稼働の向上と安定
- ・入退所のため効果的なベッドコントロールを実践をする。
- ・広報活動、情報発信の継続

3 職員個人が力を発揮できる組織づくり

1) 安心して仕事ができる環境・仕組みづくり

- ・かかえ上げゼロの実践と福祉用具を使用したケアの推進
- ・ICTを活用しての業務の見直しと効率化を図る。

2) 様々な形での研修の実施と内容の共有

- ・オンライン研修への参加を推進していく。
- ・内部研修の開催について、動画や資料などを工夫した方法を検討する。
- ・無資格職員へ基礎となる項目(認知症ケア、虐待防止等)について研修を実施していく。

4 地域の高齢者やご家族に対し、拠点施設として役割を果たす

1) 地域実態の把握と分析

- ・コロナ禍におけるボランティア活動の再開に向けての工夫、検討を進める。
- ・地域と協働した防災対策の検討を推進していく。
- ・多目的ホールの地域への開放を継続していく。

5 建物設備の環境整備を進めていく

1) これからを見据えた施設整備

- ・入浴設備導入に向けた検討を行う。
- ・厨房機器更新(温冷配膳車等)を実施していく。
- ・組織的5S活動を実践(整理・整頓・清潔・清掃・ルール作り)する